

旅先ビューッフェ

1. はじめに

私は大学進学で長崎に住んで三年になる。長崎は異国情緒あふれる観光地のイメージがあり、日本人だけでなく外国人の観光客も多数訪れている。しかし、長崎には新鮮な魚やちゃんぽんなどのグルメやハウステンボスのような有名な観光スポット以外にも、まだまだ知られざる魅力がたくさんある。地理的条件としては、長崎は周囲を海に囲まれており、数多くの離島がある。長い海岸線にきれいな海も魅力の一つである。また、世界遺産も多く軍艦島や旧グラバー住宅だけでなく2018年には潜伏キリシタン関連遺産が登録された。今後は長崎新幹線の開通により多くの観光客が国内外から訪れることが予想される。長崎の魅力をより多くの人に知ってもらい、さらに新たな魅力を発見してもらうためには何が必要なのかを考え、今回は「旅」に関する提案を行う。

2. 提案内容

① DEEP スポットへの案内

これは、その日の気分や予算など、利用者のリクエストに応じて隠れ家的な食事または観光のスポットを紹介してくれるというサービスである。ガイドブックには有名なところしか載っておらず、地元の人がおすすめるような場所を知る機会は、口コミ以外にはあまりない。そういった隠れ家的なスポットを紹介することで、長崎の魅力を伝えることができると考えた。

② へき地周辺のルートマップの作成

長崎は県の形に特徴があり、入り組んだ地形からへき地が多い。はしっこ旅が好きな人や、ツーリングやドライブが好きな人には適した場所だといえる。しかし、へき地はルートが分かりにくく不便である。そこで「へき地周辺のルートマップ」を作成するとより長崎らしさを伝えることができると考えた。

そのルートでの最後のガソリンスタンドの場所や、トイレの場所、コンビニやおすすめの立ち寄りスポットなどが記載してあるとより使いやすくなると思う。また長崎県内の主要駅から日帰りで行けるかどうかや周辺の世界遺産の案内なども載せると、さらに観光客は増加すると考える。外国人観光客が多いことも考慮してそのルート内に英語の標識を設けたり、多言語に対応したルートマップを作成することで外国人観光客もこれまで訪れる観光客が少なかったようなへき地へ足を運びやすくなるだろう。

3. 提案内容に対する問題点

上記の提案には大きく分けて三つの問題点がある。

一つ目は「情報収集」の問題である。どのように情報を集めるのかだけでなく、そのた

めの資金や人員の確保も問題として挙げられる。また集めた情報は膨大な量となるが、その情報をどうやって管理するのかという問題も生じる。

二つ目に「情報提供」の問題である。日本人だけでなく外国の方々が利用することも想定したときに、どのように情報を提供するのが良いかといった問題が生じる。また情報を提供する手段としても窓口としての案内やインターネットを活用した案内など様々な提供の仕方がある。

三つ目は「情報更新」の問題である。利用者に最新の情報や追加されたメニューを提供するためには情報を更新し続けなければならない。リピーターを増やすには日々更新が必要であり、ユーザーからの意見によるシステム改善なども生じると想定される。

4. 実現化するには

これらの問題点をふまえて、実際に実現化するにはどうすればよいか考える。

まず情報収集に関しては、より詳しい情報を入手するため現地調査を主として情報を収集する。しかし、それだけでは膨大な時間がかかるため、地元民へのアンケートを実施したり実際に話を聞いたりして、その意見を参考にする。またインターネットも活用して情報を収集する。収集した情報はエリアごとや食べ物の種類などで分類し、ファイリングして、探しやすいようにしておく。資金面では店や観光スポットから紹介料として集金する。また県や市と連携して補助金制度を利用して資金を調達する。

情報提供の問題に対しては、多言語に対応できるスタッフを配置するとともにすべてのスタッフの外国語によるコミュニケーション能力の向上に力をいれると、外国人観光客にも情報を提供しやすくなり、利用者も増えていくと思われる。

情報更新に関しては、現地調査は続けていくが、店や観光スポットにも自主的に更新してもらおうようにする。こうすることで利用者は最新の情報を得ることができるし、訪れる観光客も増加すると思われるのでいいと思う。さらに実際に利用した人に感想を書いてもらいその意見を参考にする。

5. 付加価値

これらの提案によって観光客が増加し長崎県の隅々まで観光エリアが広がり、長崎県に経済効果をもたらすことが期待できる。また長崎の魅力を再発見ことができ、リピーターも増加すると思う。さらに、市街地だけでなく郊外でも観光客が増加することで観光客が一か所に集中するのを防ぐことができる。そのほかにも、同じような考えを持って行動されている団体等があれば、コラボレーションすることも可能であると考えられる。

6. おわりに

まだ長崎に住んで三年しか経っていないが、観光やグルメ以外にも長崎くんちやランタンフェスティバルなどのお祭りがあり、多くの方々が県外から訪れとても盛り上がって

いる。また精霊流しは長崎県外出身の人なら驚くくらいの迫力があり、一見の価値があると感じている。このように長崎にはまだまだ魅力が多い。大学生活でお世話になった魅力あふれる長崎の発展に、今後は少しでも貢献していきたいと思っている。